



栃木県立足利南高等学校

令和6年度 総合学科通信 第3号

No. 70
(2025/3/24 発行)

校長より

「時代とともに生き抜く力を」

校長 麦倉 常治



皆さんの、40年後の生活や世界はどうなっているか想像できますか。大きな変化があるとは解っていても、具体的なイメージは捉えにくいものかもしれません。

今から40年前、私は皆さんと同じ高校生でした。その時40年後(現在)の生活をイメージしたことは、ぼんやりとした記憶ですが、テレビ電話や、コンピュータによる自動計算、空飛ぶ自動車、ロボットの活躍などでした。また、エネルギーについても石油は枯渇すると言われ、きっと無くなっているだろうと考えていました。実際には、テレビ電話ではそれより高機能なスマートフォンが出回ったり、AIや自動運転技術など、大きな変化をしたことは確実です。エネルギーについては、石油は残

るものの自然エネルギーの活用が進んだのは事実です。このように大きな変化がありました。

皆さんにとっての40年後の変化は、これまでの40年の変化より大きな変化があることは確実だと思います。時代の変化に対応するためには、常に前向きに変化を捉える姿勢が必要だと考えます。新たな技術やシステムに対して、自分との関連性を意識し主体的に考え、それを活かすことができる能力がより求められると考えます。

これからの時代に必要とされる姿勢や能力の基本が、課題を見つける力と、それを解決する方法を考える力、さらにそのための行動ができる力だと考えます。本校での総合学科での学びは、このような将来必要とされる力を育むシステムだと確信します。1年次の「産業社会と人間」では、現代社会の中で必要とされることと、自分の活かし方を考え、2年次の「ミニ課題研究」では、自分から課題を見出し研究の進め方を学び、3年次では、「課題研究」として、生徒一人ひとりが主体的な活動を通して、自己課題解決能力とプレゼンテーション力を身につけています。今年度各年次のそれぞれの成果は、1月に開催された「総合学科発表会」で発表されました。本校の総合学科での学びの成果を、全校生徒のみならず保護者や地域の方々にもご覧いただきました。生徒一人ひとりの努力と成長を実感する機会ともなりました。

このような足利南高校総合学科での学びは、これからの世界で様々な課題の解決に向けて、仲間と協力し行動がとれるリーダー的存在となる人材の育成につながっていくことが大いに期待できると考えます。



1学年より

「1年間を振り返って」

1学年主任 天貝 恵美



「産業社会と人間」の時間ではまず、自分自身を振り返り(過去)、将来を見据え(未来)、時間割を作成する(現在)ことを主眼に置いて進めてきました。自分自身のことを考えるだけでなく、常に他者との関わり、社会との関わりを意識するような学びを積み重ねられるよう工夫してきました。まだまだ試行錯誤の段階ではありますが、次年度以降の総合探究Ⅰ・Ⅱにもつながっていきたいと考えています。

中学校を卒業し、やっとこれから高校生活が始まるというときに、「高校卒業後、あなたはどのような自分になっていきたいですか」と問いかける「産業社会と人間」と

いう科目に多少戸惑いを感じながらも、一生懸命向き合っている姿を様々な場面で見ることができました。物事を多角的に見据えられる視野の広さを養ってもらうことを目標にしている科目です。今年一年間で発見した「気づき」を大切にしたいと思っています。それこそが、総合学科での学びをより深く、実り大きなものにしてけると信じています。次年度の総合探究Ⅰでもたくさんの気づきを見つけていきましょう。

2学年より

「小さな目標を達成し続けるためには」

2学年主任 柳澤 美紀



2年次生の1年を振り返ると、体育祭や修学旅行など友達との時間が支えになったかけがえのない年であり、将来に向けて少しずつ自分を知る学びの年でありました。今年度は「総合探究Ⅰ」にて総合学科の学びを深めました。学年後半には、3年次の「総合探究Ⅱ」に向けて課題研究のテーマ設定を行いました。

自分や社会が抱える課題について調べ、深く考え、解決策を探るためには、単なる知識の習得ではなく、自分で問いを立て、情報を集め、分析し、解決方法を考えることが大切です。「なぜ？」を深く掘り下げるには根気強さも必要となりますが、まずは継続しやすい目標を立て、目標を具体的にすることで達成が明確なものとなるよう研究を進めて欲しいと思います。

小さな成功体験を積み重ねることで自己肯定感も上がり、次の目標達成が楽しくなっています。できたこと、できなかったこと、すべてが大切な経験であり、悩みも多かったけれど、それだけ成長できた証として、次年度は挑戦と成長の1年にして欲しいと思います。



3学年より

「卒業式を終えて」

3学年主任 山田 英城

去る令和七年三月三日、栃木県立足利南高等学校第四十七回卒業式が挙行され、総合学科第二十三期生百四十六名が本校を巣立ちました。ここまで生徒を支えてくださった諸先生方や保護者の方々に、この場をお借りして御礼を申し上げますとともに、特に生徒に一番近い所で寄り添い続けてくださった保護者の皆様に敬意を表します。

この学年は、中学時代と高校時代の六年間のほとんどをコロナ禍の下で過ごさざるを得なかった世代でした。しかし、そのような時代であったからこそ、普段の何気ないことが印象に残っているのではないかと思います。登下校の時の風景、教室の窓から見た雲、先生や友達との雑談、廊下を歩いているときの他の生徒達の様子、これらも立派な学生時代の思い出です。その様な記憶を持てた学校生活を誇りに思っ

て欲しいと思います。さて、生徒達の次の活躍の場となるのは、常に大きな変化が続いている社会です。心配や不安はありますが、本校生の最大の長所は素直であることです。その持ち前の素直さで、人の話に耳を傾けたり、他人の意見を取り入れたりして、社会の変化に柔軟に対応してくれることと思います。卒業生の今後の活躍を期待しています。



スポーツデイ

生徒会係 戸田 夏希

12月18日(水)、令和6年度スポーツデイが開催されました。例年同様、男子がサッカー、女子がバレーボールを実施しました。今大会では、準備や運営・片付けまで、生徒会役員と体育委員が中心となり、生徒主体で行事をおこないました。勝敗に関係なく、クラスメイトと共に楽しむことができ、一人ひとりがそれぞれに達成感や充実感を味わったことと思います。



	サッカー (男子)	バレーボール (女子)	総合順位
優勝	3年4組	3年2組	3年2組
準優勝	3年2組	3年4組	3年4組
3位	3年3組	3年1組	3年3組

総合学科発表会

令和7年1月25日(土)、令和6年度の総合学科発表会が開催されました。午前の部として、産業社会と人間、総合探究Ⅰ・Ⅱの代表者による発表が第1体育館で行われました。

1年生は自分の描く進路や人生設計をまとめた「ライフプラン」を、2年生は「ミニ課題研究」の発表を行いました。3年生は人文社会、自然科学、情報メディア、芸術スポーツ、生活デザインの各系列から選ばれた代表者9名が「課題研究」を発表しました。総合学科では、1年次からタブレットを使用して文章作成や発表スライドの作成を行い、課題達成のためのツールに触れています。2年次では課題の発見方法や問題解決の方法を学び、3年次にはそれぞれのテーマを設定して「課題研究」を行っています。この3年間の総合学科での歩みが実を結んだ素晴らしい発表会でした。どの発表も、自分の考えを堂々と明快地聴衆に届ける技術に優れており、考察した内容がより分かりやすく伝わる充実したものでした。先輩の「課題研究」の発表は、1、2年生にとって今後の参考になることと思います。

会場には保護者や中学生、ご来賓の方々など約40名が足を運んでくださいました。また、YouTubeでのライブ配信のアクセス数は156と、昨年度の5倍に達しました。外部の方々にも本校の特色ある学びや取り組みを発信できる良い機会となりました。

来年度も、これまで以上に充実した発表会になるよう努めてまいります。生徒たちの成長を見守り、さらなる学びの場を提供できるよう、教職員一同、引き続き努力してまいります。

総合学科係 篠崎 早苗



国際理解 LHR

演題「同じ空の下で生きている」



講師 後藤 千春 教諭

講師の後藤教諭は、令和6年7月、JICA主催の教師海外研修でウガンダを訪問されました。そのときの経験をもとに、12月16日(月) 6時間目 第1体育館において、訪問先の学校や生徒たちの様子、街の風景、人々の暮らしなど、映像を見せながら楽しくわかりやすい講演をしていただきました。講演後の生徒たちの感想では、「知らない国だったけれど、共通点がたくさんあった。」「遠い国でも、同じ空の下でつながっているんだと実感した。」など異文化に共感する意見が多く見られました。

ラッピング講習

3年生が選択している「マナー基礎」「マナー研究」の授業で、ラッピング講習会を行いました。講師の先生から、基本のリボンの結び方や袋口の折りたたみ方などを教えていただき、きれいな仕上がりを目指して生徒一人一人が試行錯誤しながら取り組みました。今回はクリスマスの時期に合わせて、赤や緑の包装材を使用しました。リボンの長さやバランスを調節し、中身の配置を工夫して、素敵にラッピングをすることができました。

家庭科 柳田 果穂



講座発表会

学習指導部 森 紀子

令和7年1月25日(土)、令和6年度の講座発表会が総合学科発表会の午後の部として実施されました。講座発表会は、芸術や技能習得分野の講座を中心に、一年間の授業を通して身に付けた学習内容を発表する場として行われています。今年も第2体育館での作品展示と、教室で事前に収録された動画の視聴を行いました。

第2体育館には、美術や家庭科の作品に加え、1年次の産業社会と人間、2年次の総合探究Ⅰ、3年次の総合探究Ⅱの研究結果が展示されました。また今年は新教育課程がスタートして3年目、3つの学年で新しいカリキュラムが出そろったこともあり、偉人研究、地域研究×ビジュアルデザイン×情報Ⅰ(コラボ作品)、健康スポーツといった新しい講座が展示に参加しました。

動画視聴した講座は、声楽の歌唱や音楽Ⅱ・器楽の演奏、体育のダンス、スポーツⅠのマット・跳び箱運動、情報デザインのポスター制作、生活と福祉の車いす介助に、今回新たに健康スポーツ、地域研究×ビジュアルデザイン×情報Ⅰの発表が加わり、バラエティに富んだ内容となりました。

生徒たちは自分が参加した講座について友達や先生に紹介したり、作品や発表を熱心に見たりと、充実した時間を過ごしました。今後も総合学科ならではの講座発表会としてさらに良いものとなるよう努めてまいります。



テーブルマナー講習会



家庭科 森 紀子

令和7年1月14日(火)、マナー研究選択者の3年生を対象に、テーブルマナー講習会が行われました。会場はレストラン・ラ・ベルビューで、接客サービス担当の方から、食事マナーの大切さやマナーの実践について学びました。

教科書とは異なる内容もあり、マナーは時代とともに変化するという話が印象的でした。参加生徒たちはコース料理を前にして緊張していましたが、丁寧な指導を受けて和やかな雰囲気の中での学習となりました。

こぼと幼稚園訪問

生徒会係 田中 翔太

1月に生徒会のメンバーで足利こぼと幼稚園を訪問しました。天気にも恵まれ、生徒会で考えた、新聞じゃんけんやバナナ鬼、宝さがしなどの活動を通して園児たちと交流することができました。

今年は、昼食も一緒に取らせていただくことができ、「最近、幼稚園で流行っていること」や「高校ってどんなところか」などの話題が聞こえてきて、楽しいお昼の時間になったみたいです。

生徒のなかには保育関係の進路を目指す者もあり、学びの多い機会となりました。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

